

国際病理アカデミー 日本支部

A NEWS BULLETIN 2007 Number 1

Published quarterly
by the Japanese Division
of the International
Academy of Pathology

IAP日本支部会長就任にあたって

新会長 橋本 洋

産業医科大学医学部第一病理学

OFFICERS PRESIDENT

H. Hashimoto, M.D. (09)
University of Occupational and
Environmental Health

PAST PRESIDENT

T. Morohoshi, M.D. (09)
Showa University

PRESIDENT-ELECT

O. Matsubara, M.D. (09)
National Defense Medical College

SECRETARY-TREASURER

N. Nemoto, M.D. (09)
Nihon University

COUNCILLORS

T. Manabe, M.D. (07)

Kyoto University

T. Sano, M.D. (07)

Tokushima University

M. Shimizu, M.D.(08)

Saitama Medical School

T. Nojima, M.D.(08)

Kanazawa Medical University

T. Yoshino, M.D. (09)

Okayama University

T. Shiraiishi, M.D. (09)

Mie University

COMMITTEE CHAIR

Education, Chair

Z. Naito, M.D. (09)

Nippon Medical School

Finance

H. Iwasaki, M.D. (07)

Fukuoka University

Nomination

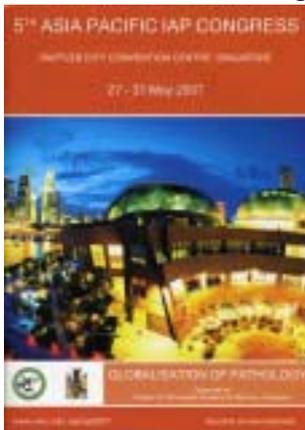
T. Morohoshi, M.D. (09)

Course Director, SPU

R.Y. Osamura, M.D. (09)

Tokai University

The 5th Asia Pacific IAP Congress



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては佳き新年をお迎えになられたことと心よりお喜び申し上げます。

本年より3年間、諸星利男前会長を引き継いで大役を仰せつかることになり、責任の重大さに身の引き締まる思いであります。どうぞ宜しくお願いいたします。

IAP 日本支部は 1961 年に Chicago で開催された IAP 理事会で正式に加入を認められ、設立当時 66 名であった会員数(国際病理アカデミー日本支部 25 周年記念号, 1986 年による)は 2006 年の会員名簿では 582 名と増加し、約 5,500 名の米国カナダ、約 1,900 名のドイツ、約 1,200 名の英国ならびにフランスに次いで 5 番目(オーストラレーシアとほぼ同数)に位置しており、これまでの先輩諸氏のご努力によりその活動も年々盛んになってきております。近年では、2000 年の名古屋での IAP 国際会議の開催、2004 年の Brisbane での IAP 国際会議で牛込新一郎先生が IAP 本部会長として大役を果たされたこと、長村義之先生が日本支部会長が現在 IAP 本部のアジア地区担当副会長として活躍されていることなど、IAP 本部への日本支部からの貢献は目を見張るものがあります。振り返りますと、私が IAP の活動を初めて経験できたのは 1989 年に慈恵医大高木会館で開かれた第 1 回日韓合同スライドカンファレンスであり、翌年 1990 年には Buenos Aires で開催された第 18 回 IAP 国際会議に初めて参加し、恩師・遠城寺宗知先生(IAP 日本支部元会長)の代理として軟部腫瘍スライドセミナーにおいて発表する機会をいただきました。以後、IAP 国際会議は昨年 Montreal で開かれた IAP 設立 100 年記念の第 26 回 IAP 国際会議まですべてを経験でき、学術的意義のみならず、文化的な刺激に毎回感動してきました。是非ともより多くの方々を日本から参加されるよう期待しております。IAP 日本支部の役割は IAP の本部ならびに他国の IAP 支部との密接な連絡、交流を背景に我が国の病理学の国際的活動を推進し、また国内での活発な生涯教育活動も加えて我が国の病理医を育成することにあると思います。

国内での活動としては、まず日本病理学会秋期特別総会の翌日に開催される教育シンポジウムとスライドセミナーがあります。毎年多数の参加者を迎えており、大変好評であります。役に立つハンドアウトの作成など、講師の先生方にはいろいろとご尽力をいただいておりますが、今後も日常の病理診断業務で関心が高いトピックスを取り上げるよう努めてまいります。スライドセミナーで用いる症例は多数の切片が配布用に必要とされるため供覧できる症例が制限されることもあり、経済的に許されればバーチャルスライドを使用する可能性も今後検討すべきであると考えております。



USCAP の The F K Mostofi Distinguished Service Award に相当

選考は理事会による

→赤木忠厚、丸山孝士、牛込新一郎、
今回(桜井 勇、浅野伍朗)

2) IAP 日本支部・Silverberg病理診断教育賞

受賞資格: IAP 日本支部会員

受賞対象: 長年の病理診断学の教育への貢献

USCAP の The Distinguished Pathologist Award に相当

選考は理事会による

→今回(下里幸雄、菊池昌弘)

3) IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

受賞資格: 若手(40才未満)の 病理医

受賞対象: 前年に公表された診断病理分野における優れた英文業績(1編)

USCAP の The Benjamin Castleman Award に相当

選考は特別委員会による

最大3名 副賞10万円

→黒田直人、小田義直、三上芳喜(2002)

相島慎一、森谷鈴子、長尾俊孝(2003)

久岡正典、蒲池綾子(2004)

山元英崇 全 陽(2005)

加留部謙之輔(2006)

4) IAP 日本支部・特別功労賞

受賞資格: IAP 日本支部会員以外の IAP 会員

受賞対象: 長年の IAP 日本支部の発展への貢献

選考は理事会による

→Jack P. Strong, Robin A. Cooke, Moon-Ho Yang, Phillip W. Allen, Steven G. Silverberg

5) IAP 日本支部発足40周年記念特別賞

受賞資格: 元 IAP 日本支部会員役員

受賞対象: 発足初期の IAP 日本支部の発展に貢献

選考は理事会による

→江頭靖之、石川栄世、福田芳郎、遠城寺宗知、
鈴木 実、町並陸生

oo

Surgical Pathology Update 2007(IAP) 参加者募集

IAP 日本支部では国際的基準(Global standard)に基づく病理診断医(Surgical Pathologists)の育成と米国を中心とした外国の著名な病理医との交流をめざすことを目的に、全国から希望者 50 名を募り 2 泊 3 日の合宿(湘南国際村センター、神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39)により、米国から招聘した専門分野の講師および日本側の Faculty と共に講義実習を行う SPU を 2000 年から行っています。

今年の日程は 6 月 22 日(金)から 24 日(日)で、Course Director は Maryland 大学の Steven G. Silverberg 教授と東海大学の長村義之教授が務めます。

今年のテーマは、「GYN の病理と GI の病理」で、Faculty は Silverberg 教授、Michigan 大学の Henry D. Appelman 教授、癌研究会癌研究所の加藤 洋先生、東京都老人総合研究所の田久保海誉先生、慈恵医大の清川貴子先生をお願いしています。2 泊 3 日の合宿により、スライド鏡検を中心とした実習と解説を行い、関連分野の最近のトピックスの講演も行う予定です。

なお、社団法人日本病理学会の後援を受けており、病理専門医資格更新の際 10 単位が得られます。



Henry D. Appelman 教授 (現 USCAP 会長)

参加費は IAP 会員が 45,000 円、非会員が 55,000 円で、宿泊費、会場費、食事代、事前の病理ガラスライド配付、当日のハンドアウトなどを含みます。例年 SPU は大変好評で、今回も多数の希望者が予想されます。受け付けは去年同様に先着順とさせていただきます。セミナーの講堂の広さと椅子に限りがあるため 50 名の定員とさせていただきます。希望されても参加者に登録できなかった方にはスライドセットとハンドアウトが余れば、優先的に有償でお譲りしようと思います。毎回登録をめぐり、スライドセットとハンドアウトの有償配布で若干のトラブルが生じ事務局も心苦しいかぎりですが、どうかご理解下さい。

参加希望者は、氏名、年齢、性別、所属、連絡先(住所、電話、FAX、e-mail)、IAP 日本支部会員か非会員、日本病理学会会員か非会員を明記の上、e-mail(またはファックス)で申し込んで下さい。なるべく e-mail でお願いしたいと思います。連絡は FAX : 04-2996-5193、e-mail : matubara@ndmc.ac.jp です。

IAP 日本支部 SPU 事務局: 松原 修(防衛医大病態病理)

oo

平成 19 年度 IAP 日本支部理事・役員

会長	橋本 洋
前会長	諸星 利男
次期会長	松原 修
本部前会長	牛込新一郎
SPU Course Director	兼
前々会長	長村 義之
常任幹事	根本 則道
教育担当	内藤 善哉
理事	真鍋 俊明
理事	佐野 壽昭
理事	清水 道生
理事	野島 孝之
理事	吉野 正
理事	白石 泰三
会計監事	岩崎 宏

IAP 日本支部理事指名委員会

委員長	諸星 利男
副委員長	長村 義之
委員	中村 栄男*
委員	岩崎 宏
委員	中里 洋一*

